

C714-80002A

UCHIDA

ウチダ全自動紙折機 AF-2型

取扱説明書

株式会社 **内田洋行**
オフィスシステム事業部

用保管発開

はじめに

このたびは全自動型紙折機をお求めいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

本機は各種の操作を自動化した、高性能紙折機です。正しくお使い
いただくために、この取扱説明書を十分お読みいただいたうえ、
末永くご愛用下さるようお願い申し上げます。なお、本機は嚴重な
検査のうえお届けしておりますが、万一不都合な点などございましたら、
取扱店までお申し付け下さい。

目 次

本機の仕様及び付属品	1
設置場所及び使用上の注意	2
各部の名称と働き	3
テーブルセットのしかた	4
操作手順	4
用紙のセット	4
排紙ローラーのセット	5
排紙ストッパーのセット	5
操作パネルの使い方	5
各部の操作方法	6
折り位置修正のしかた	6
特殊用紙サイズの場合	6
用紙サイズを変えた場合	7
紙詰まりの処理	7
機能変換の使い方	7
(1) 折り形セット (2) 枚数セット	
斜行調整の使い方	7
表示部が点滅している場合の処理	8
途中でストップさせる場合	8
特殊な折り方 (クロス折り)	8
用紙の長さ と 折り寸法について	9
機械のお手入れ	9
お 願 い	9

本機の仕様及び付属品

仕 様

型 式	AF-2
用紙寸法	B7判 (91×128mm) ~ A3判 (297×420mm)
用紙重量	40~90kg (更紙・上質紙・上質孔版紙・中質紙)
折 型	2つ折・観音折・内3つ折・4つ折・片袖折・その他変形折・2回折りによるクロス折り
折り寸法	<p>最大折り寸法 320mm (1テーブルで折れる最大折り寸法) 外3つ・4つ・片袖折り時 217mm (2テーブルで折れる最大折り寸法) 2つ・観音・内3つ折り時</p> <p>最小折り寸法 48mm (1テーブルで折れる最小折り寸法) 観音・内3つ折り時 43mm (2テーブルで折れる最小折り寸法) 2つ・外3つ・4つ・片袖折り時</p>
給紙方式	3輪紙サバキ方式
給紙積載量	450枚 (上質紙55kg)
処理速度	2800~7200枚/時 (B4判 2つ折時)
操作方式	マイコン搭載によるデジタルテンキー自動設定方式
付加機能	<ul style="list-style-type: none"> ★斜行調整, 紙詰まり検出, 4桁加算・減算切り換えスイッチ付デジタルカウンター ★誤動作, 誤操作, 終了時電子音で自動停止 ★用紙サイズ (A3・B4・A4・B5) 自動読み取り機能 ★クロス折り用補助用紙ガイド付 ★オプションとしてミシン目取り付け可能
消費電力	80W
使用電源	100V 50/60Hz
機械寸法	835 (W) × 485 (D) × 450 (H) (使用時) 400 (W) × 485 (D) × 350 (H) (収納時)
機械重量	29kg
付 属 品	機械カバー 1枚 取扱説明書 1枚 保証書 1枚 補助用紙ガイドAss'y 右・左 1組
オプション	ミシンテーブルAss'y (ミシン目カッター2mm・4mmの2種類有)重量4.3kg 投票用紙用ギヤー Ass'y

本機の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

設置場所及び使用上の注意

設置時のご注意

次のような場所は安全上、また機械の故障の原因になりますので、避けて設置してください。

★高温、低温の場所

温度は5～35℃の範囲でご使用ください。

★床が丈夫でなく、水平でない場所やぐらついた台の上

★日光のあたる所やほこりの多い所、湿度の高い所

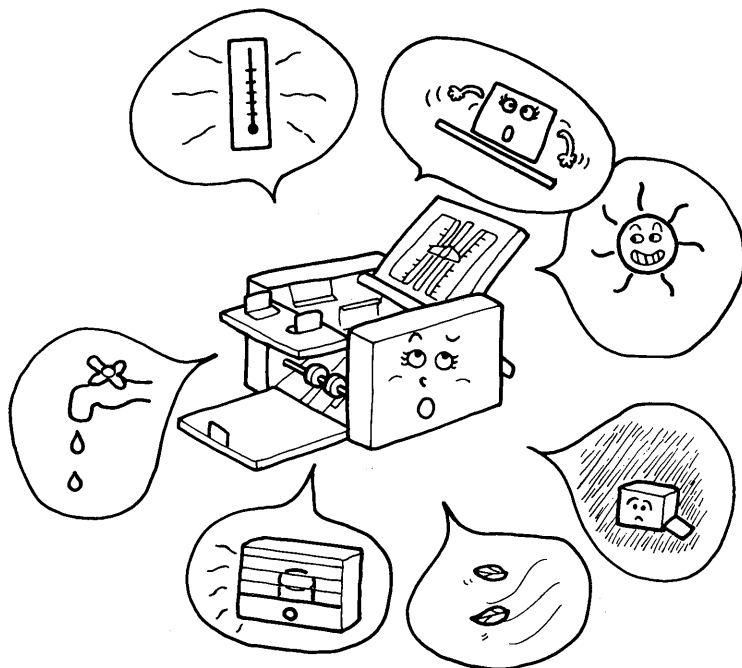
窓際はなるべくお避けください。

★水などが飛び散り、漏電をおこす危険性のある場所

★暖房器具に近い場所

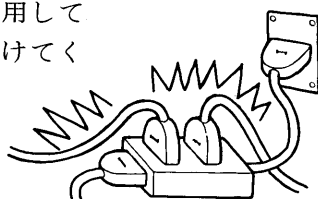
★風が直接あたる場所

★換気の悪い狭い場所や暗い場所

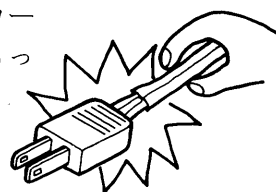


使用上のご注意

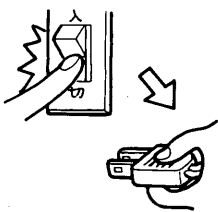
本機は精密電子部品を使用している為、タコ足配線は避けてください。



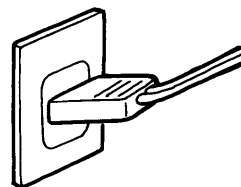
電源プラグを抜く場合は、コードを引っ張らずにプラグをもって抜いてください。



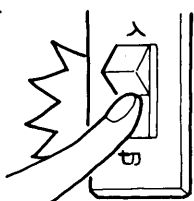
退社時や停電の時は必ず電源スイッチを切って電源プラグをコンセントから外してください。



電源プラグをコンセントに差し込む時は奥まで完全に差し込んでください。



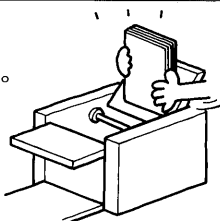
運転中は電源スイッチを切らないでください。



運転中は回転部に指や物を入れない様に注意してください。



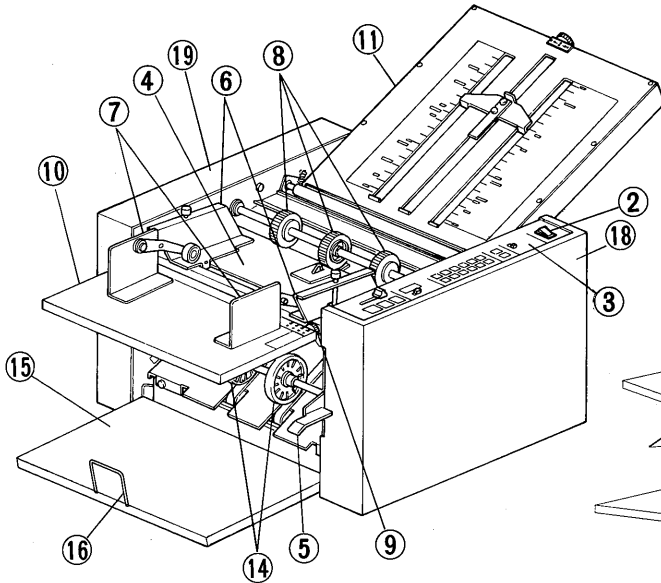
機械の上で用紙を揃えたり、物を置かないようにしてください。



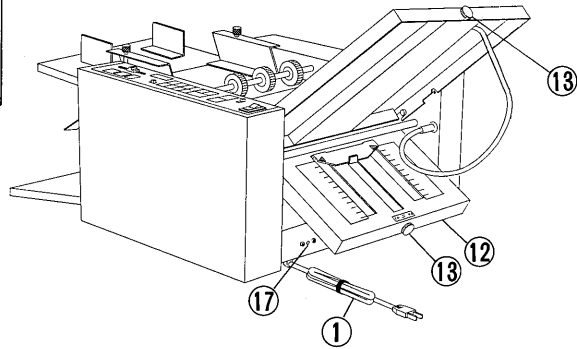
機械に異常が発生した場合は直ちに電源スイッチを切り、販売店又は当社にご連絡ください。

各部の名称と働き

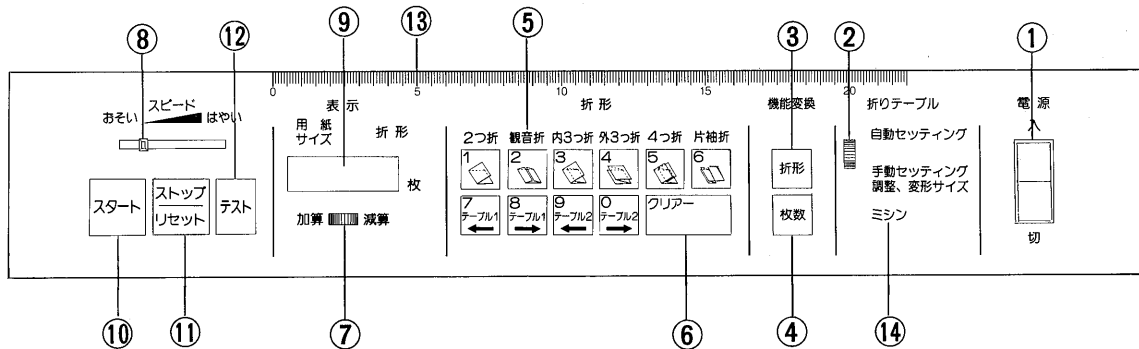
各部の名称



番号	名称	番号	名称
1	電源コード	11	1テーブル
2	電源スイッチ	12	2テーブル
3	操作パネル	13	ストッパー微調整ツマミ
4	給紙テーブル	14	排紙ローラー
5	給紙テーブルレバー	15	排紙テーブル
6	用紙ガイド	16	排紙ストッパー
7	補助用紙ガイド	17	ブレーカー
8	給紙ローラー	18	右化粧カバー
9	斜行調整ツマミ	19	左化粧カバー
10	補助テーブル		



操作部の名称とはたらき

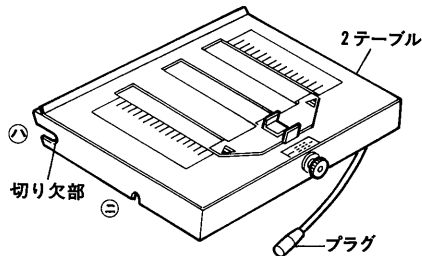


No.	名称	はたらき	参照頁
1	電源スイッチ	電源を入れます。	5
2	折りテーブル切り換えスイッチ	テーブルの折り位置を設定する時に切り換えます。	5
3	折形キー	折り形をセットする時に押します。	7
4	枚数キー	枚数をセットする時に押します。	5, 7
5	数字キー	折形・枚数・テーブルの折り位置を手動でセットする時に押します。	5, 6, 7
6	クリアキー	加算・減算を0にする時に押します。	5, 7
7	カウンター切り換えスイッチ	カウンターの加算・減算時に切り換えます。	5
8	スピードツマミ	折りスピードを変える時にスライドさせます。	5
9	カウンター	折形キーを押すと用紙サイズの下に用紙サイズが表示され、折形の下に折り形番号が表示されます。又、枚数キーを押すと枚数表示になります。	5, 7
10	スタートキー	紙折り開始の時に押します。	5, 7
11	ストップ, リセットキー	紙折りを停止させる時に押します。カウンター点減時に押すと点減が止まります。	5, 7, 8
12	テストキー	試し折りをする時押します。	5
13	目盛	折り位置調整の時に使用します。	
14	ミシン	ミシンテーブルを取り付けた時、ランプが点灯します。(オプション)	

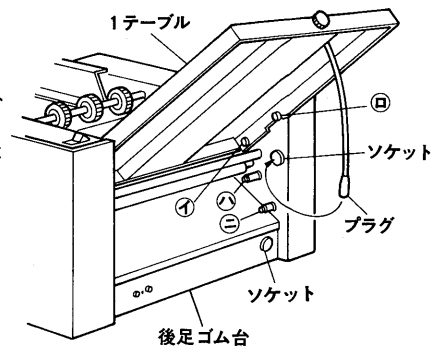
テーブルセットのしかた

1・2テーブルのセット

1. 1テーブル（上段）のプラグを左サイド板のソケットに差し込み、テーブルの切り欠き部の前方をサイド板右・左にカシメられているピン①に差し込み、後端はピン②にはめ込みます。



2. 2テーブル（下段）のプラグを後足ゴム台のソケットに差し込み、テーブルの切り欠き部の前方をサイド板右・左にカシメられているピン③に差し込み、後端を下に押しながらピン④にはめ込む様に取り付けます。

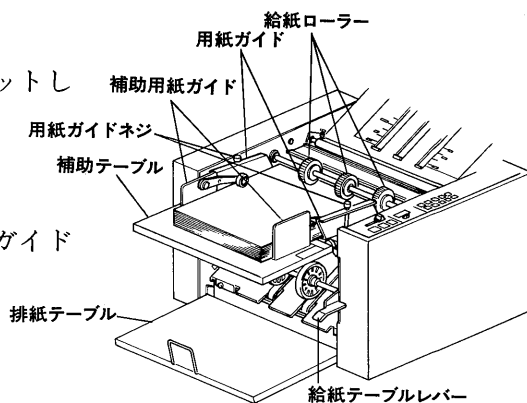


テーブルのプラグが正しく差し込まれないまま電源を入れますと、“ピーピー”という異常警告音と共に表示部は点滅し、折り位置が自動セット出来ません。その時は電源スイッチを「切」にしてプラグを完全に差し込んでから電源を入れ直してください。又、テーブルのセットが不完全ですと紙詰まりやシワ等の要因になり、トラブルが発生します。テーブルの取り付け、取り外しの時は十分に注意して取り扱ってください。

操作手順

用紙のセット

- (1) 排紙テーブルを開き、補助テーブルを持ち上げる様にしてセットします。
- (2) 給紙テーブルレバーを上げます。
- (3) 用紙ガイドを使用する用紙の目盛に合わせます。
- (4) 給紙テーブルに印刷面を上にして用紙を積み、先端が下用紙ガイドに軽くあたる様にします。
※用紙は揃えて載せてください。
※片袖折りの場合は印刷面を下にしてください。
- (5) 用紙ガイドを用紙に密着させて用紙ガイドネジを締めます。
- (6) 給紙テーブルレバーを下げます。
※用紙先端が給紙ローラーに触れていないと給紙不良の要因になります。触れていない場合は用紙先端と下用紙ガイドが接してブレーキになっている場合がありますのでその時は用紙を後にずらして再セットしてください。
- (7) 補助用紙ガイドは特殊な折り方（クロス折り）をする場合のみ使用してください。但し、用紙が曲がって給紙される様な場合は補助用紙ガイドを用紙の後端両サイドに接触する様にして補助テーブルの上に置きますと曲がらなくなります。



給紙テーブルが下がっている時、又は給紙テーブル上に用紙がない場合は「スタート」及び「テスト」キーを押しても異常警告音を発生し給紙されません。

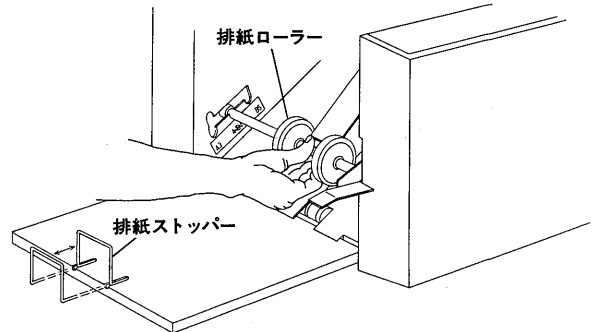
用紙サイズ自動検出が設けられています。用紙を正しくセットされない時、又は用紙がA3、A4、B4、B5以外の時、表示部に“EE”のエラー表示をします。この場合折り位置は自動セット出来ません。折り位置は手動セットとなりますので、6ページ「特殊用紙サイズの場合」を参照ください。

排紙ローラーのセット

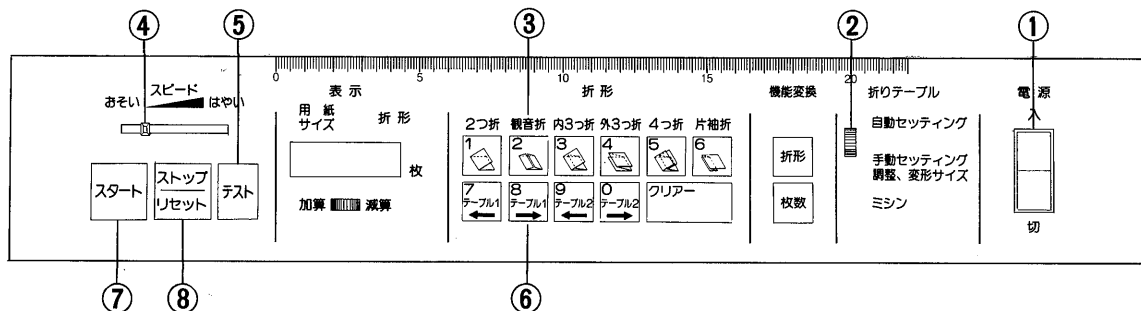
- (1) 排紙ローラーを用紙のサイズに合わせてセットします。
 ※折形により折られた用紙の全長が変わって来たり、温・湿度により用紙のカール状態が変わって来る為排紙で紙詰まりが起きた場合排紙ローラーを最適な位置に変えてください。

排紙ストッパーのセット

- (1) 排紙ストッパーを持って引き出します。
 ※排紙ストッパーの位置は用紙サイズに合わせて、排紙された用紙がスムーズに流れる様に設定してください。



操作パネルの使い方



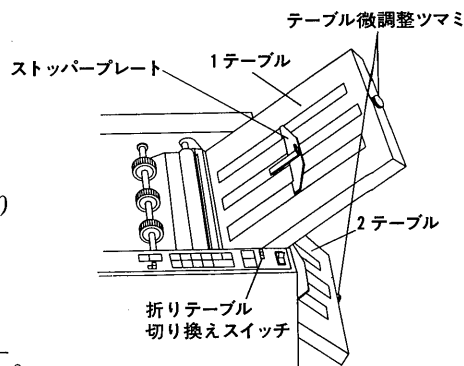
- ① 電源スイッチを「入」にします。
 ※1. 1・2テーブルのストッパープレートが原位置に移動します。
 ※2. 表示部は「用紙サイズ」と「折形」が点灯し、「用紙サイズ」は“A3”“A4”“b4”“b5”のセットされた用紙のサイズが、「折形」には“0”が表示されます。
- ② 折りテーブル切り換えスイッチを「自動セッティング」にします。
- ③ 折形を設定します。任意の折形を選択し、数字キーを押します。
 ※表示部に選択した番号が表示され、1・2テーブルのストッパープレートが同時に移動を始めます。
 ※ストッパープレートが所定の位置に移動出来ない時、異常警告音と共に表示部が点滅し、運転出来ません。この場合8ページ「表示部が点滅している時の処理」を参照してください。
- ④ スピードを設定します。スピードツマミを任意の位置にスライドさせます。
- ⑤ 試し折りをします。「テスト」キーを押します。2枚折られて排紙されます。折られた紙を確認します。
 ※折り位置がづれている時は6ページ「折り位置修正のしかた」を参照してください。
- ⑥ 枚数をセットします。カウンター切り換えスイッチを任意に設定します。
 ※「枚」が点灯しています。
 数字キーを押すとカウンターに数字がデジタル表示されますので任意の枚数をセットします。
 ※枚数を0にする時は「クリアー」ボタンを押します。
 ※但し加算の場合はセット不要となります。
- ⑦ 紙折りを開始します。「スタート」キーを押すと紙折りが始まります。
 ※給紙テーブルが下がっている時は異常警告音を発生し、給紙されません。
 ※カウンターの数字が点滅している時は給紙されません。その時は7ページ「紙詰まりの処理」を参照してください。
 ※スピードにより折り位置が変化するためスピードは試し折りのままの状態でご使用ください。
- ⑧ 途中でストップさせる場合「ストップ、リセット」キーを押します。
- ⑨ その他
 ※特殊用紙サイズ及びクロス折りの時の折り位置設定は6ページ「特殊用紙サイズの場合」を参照してください。

- ※機械保護・安全の為、運転中異常が起きた場合、自動的にブレーカーが作動して電源をOFFにします。ブレーカーが作動したら異常箇所を確認してからブレーカーを押してください。
- ※横目の紙、湿気を帯びた紙、カールした紙等、若干紙折りが悪くなる事がありますが、その時はスピードを「おそい」にして使用してください。
- ※給紙台の用紙がなくなると、ペーパースイッチの働きにより自動的に機械は停止します。


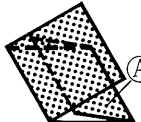
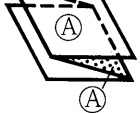
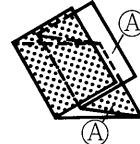
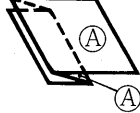
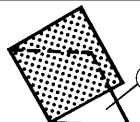
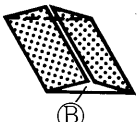
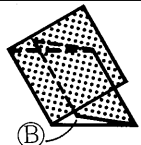
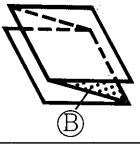
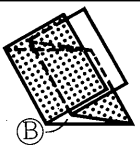
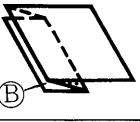
各部の操作方法

折り位置修正のしかた

- (1) 折りテーブル切り換えスイッチを「手動セッティング」にします。
- (2) 試し折りした2枚目を排紙された状態のまま取り出し、1・2テーブル上の図形表示と照合しながらテーブル微調整ツマミにて折り位置の修正をします。







ツマミ回転方向指示表  は用紙裏面を表わします。

	折り形	2つ折	観音折	内3つ折	外3つ折	4つ折	片袖折
1 テ ー ブ ル	紙折りの状態	なし					
	A面が長い場合	短	短	短	短	短	短
	A面が短い場合	長	長	長	長	長	長
2 テ ー ブ ル	紙折りの状態						
	B面が長い場合	短	短	短	短	短	短
	B面が短い場合	長	長	長	長	長	長

- ※1. 2つ折りの場合は全用紙サイズ共、2テーブルのみで折られます。
- ※2. 修正寸法は「特殊用紙サイズの場合」の項の表を参考にしてください。
- ※3. 「手動セッティング」にて折り位置修正した場合はそのままの状態で折ってください。
(「自動セッティング」に切り換えると折り位置が元に戻ります)

特殊用紙サイズの場合

- (1) 折りテーブル切り換えスイッチを「手動セッティング」に切り換えてから下記の表を参考にして数字キー , , ,  を押し、1・2ストッププレートを任意の位置に設定してください。
(合わせる場合は1・2テーブル上の目盛を参照してください)

(L=用紙の全長)

折り形	2つ折	観音折	内3つ折	外3つ折	4つ折	片袖折
1テーブル	原位置	L / 4	L / 3	2 L / 3	L / 2	3 L / 4
2テーブル	L / 2	2 L / 4	L / 3	L / 3	L / 4	L / 4

用紙サイズを変えた場合

- 用紙サイズを変えて用紙ガイドを移動させても表示部の表示は直ぐには変わりません。
- 「折形」キーを押すと、“ピピー”というブザー音と共に用紙サイズは変更します。
又は折形の「数字キー」を押すと用紙サイズは変更します。

紙詰まりの処理

給紙スリップ及び紙詰まりが発生した場合は“ピピー”という異常警告音と共に機械は停止し、表示部は点滅します。

- (1) 詰まった用紙を取り除いてください。
- (2) 「ストップ、リセット」キーを押します。(表示部が点滅している時、リセットキーとなります)
カウンターは点灯に変わります。

※用紙がローラーに巻き付いた場合等は1・2テーブルを外して用紙を取り除いてください。

- (3) 「スタート」キーを押します。紙折りを始めます。

機能変換の使い方

<1> 折り形セット

- ① 「折形」キーを押します。「用紙サイズ」「折形」が点灯し、表示部の3・4桁目に用紙サイズが、1桁目に折り形番号が表示されます。

※但し「用紙サイズ」「折形」が点灯している時は「折形」キーを押す必要はありません。「折形」キーを押した場合“ピピー”というブザー音がなります。

- ② 任意の数字キーを押します。カウンターの1桁目に数字が表示され1・2テーブルのストッパープレートが移動を始めます。

<2> 枚数セット

- ① 「枚数」キーを押します。「枚」が点灯し、表示部はカウンター表示になります。

※但し「枚」が点灯している時は「枚数」キーを押す必要はありません。「枚数」キーを押した場合“ピピー”というブザー音が鳴ります。

- ② 任意の数字キーを押します。カウンターに数字が表示されます。

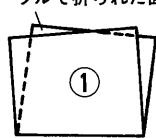
※加算の場合は折られた枚数を表示します。

- ③ 枚数を0にする時は「クリアー」キーを押します。

斜行調整の使い方

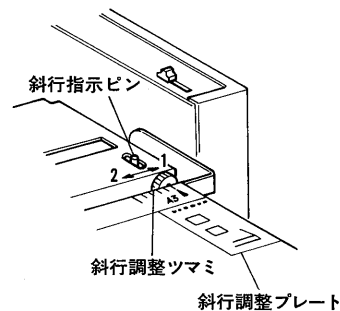
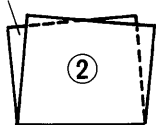
用紙裁断時の曲がり、その他の原因で折り合わせが曲がっている場合は曲がりを補正する斜行調整ツマミで曲がりを修正することが出来ます。2テーブルで折られた面(下面)

- ① 1又は2テーブルで折られた面が右へ曲がった場合は斜行調整ツマミを右方向1に廻してください。



- ② 1又は2テーブルで折られた面が左へ曲がった場合は斜行調整ツマミを左方向2に廻してください。

2テーブルで折られた面(下面)



- ※1. 2つ折りの場合は2テーブルで折られた面を下にし、その他の折りは全て1テーブルで折られた面を下にし、(但し、1テーブル以外で折られた箇所は伸ばす様にして図を参照するとわかり易い)

図を参考に給紙テーブルの調整を行ってください。(折られた面は6ページ「折り位置修正のしかた」の表を参照してください)

- ※2. 斜行調整使用後は必ず元の位置に戻してください。(斜行指示ピンが給紙テーブル長孔の中央にある様にしてください)

表示部が点滅している時の処理

(1) 電源スイッチを入れると点滅した場合

- 1テーブル・2テーブルのコネクターが外れているか、テーブル内に紙等の異物があり、ストッパープレートが移動出来ない時表示します。この場合、電源スイッチを「切」にし、コネクターのセットを確実に差し込むか、テーブルを外しテーブル内の異物を取り除き再セットしてから再び電源スイッチを「入」にしてください。
- 1・2テーブルのストッパープレートの矢印を1テーブル6～30cm・2テーブル6～20cmの範囲内にテーブル微調整ツマミで移動させてください。

(2) 給紙途中で点滅した場合

給紙スリップ及び紙詰まりが発生しているので原因を調べて安全を確認してから「ストップ、リセット」キーを押してください。その他詳しい内容については7ページ「紙詰まりの処理」を参照してください。

途中でストップさせる場合

「ストップ、リセット」キーを押します。

特殊な折り方（クロス折り）

<例> 2つ折りした用紙を更に4つ折りする様な場合

(1) 最初に折った用紙を給紙テーブルに載せ用紙ガイド右左を用紙に密着させて固定します。

(2) 右左の給紙ローラーのネジを＋ドライバーで緩めて用紙の両端を押さえる位置にセットします。





(3) 補助用紙ガイド右左を右図の様に置き、先端のベアリングが用紙のふくらみを押さえる様に置きます。

(4) 給紙テーブルを上げます。

※ 1枚目の用紙先端が給紙ローラーに触れる様にセットしてください。

(5) 折りテーブル切り換えスイッチを「手動セッティング」にします。

※ 手動セッティングはそのままにしておいてください。

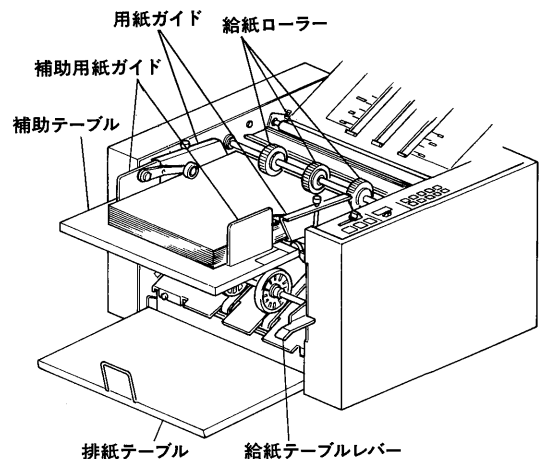
(6) 「数字」キー , , , , を押して1・2テーブルストッパーを任意の位置に設定します。

(7) 「テスト」キーを押して折り位置を確認します。

※ 微調整は微調整ツマミにて折り位置を修正します。

(8) カウンター（加減算）をセットしてから「スタート」キーを押して開始します。

※ 1. 最初の折りは折り重ねの少ない折形で折ってください。



<例> 2つ折りと4つ折りの場合

1度目に2つ折りをしてから2度目に4つ折りをするとうまく折れます。

※ 2. 用紙の折り目は手でもう1度シゴいてください。

※ 3. 用紙はよく揃えて給紙テーブルにセットしてください。

用紙の長さや折り寸法について

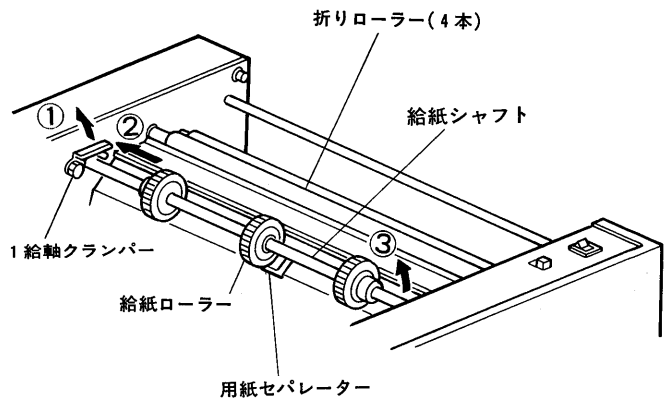
- ・紙折りできる用紙の最大巾は302mmです。
- ・表の中の数字は各種折り方の最大と最小の折り寸法です。

(単位 mm)

		2つ折	観音折	内3つ折	外3つ折	4つ折	片袖折
最大に折れる寸法	1テーブル	—	108	217	320	320	320
	2テーブル	217	217	217	160	160	106
その時の用紙の全長		434	434	651	480	640	426
最小に折れる寸法	1テーブル	—	48	48	86	86	129
	2テーブル	43	96	48	43	43	43
その時の用紙の全長		86	192	144	129	172	172

機械のお手入れ

- 折りローラーに紙粉やホコリ等が溜まると紙折に支障をきたすことがありますので、使用しない時は機械カバーを掛けて置いてください。
- 折りローラーに紙粉及び印刷物のインキ等が付着しますとシワ、紙折れ等、トラブルの原因になりますので次の要領で清掃してください。
 - 1・2テーブルを取り外します。
 - クリーニングキットで折りローラーの表面を拭き汚れを取り除きます。
- 紙粉及び印刷物のインキ等が給紙ローラーや用紙セパレーターに付着しますと給紙性能が低下し、紙詰まりやスリップが起り易くなるので、時々清掃してください。
 - 給紙ローラーの表面をクリーニングキットで汚れを取り除いてください。
 - 右図番号順に動作して給紙シャフトは手前につらして用紙セパレーターの清掃をしてください。
- 清掃をする時には必ず電源スイッチを切ってください。
- 外装部の汚れ——アルコール又は清掃用クリーナーをご使用ください。
溶剤系の洗浄液の使用は変色の原因になることがありますので、お避けください。
- クリーニングキット (別売) 型番 141-0070**
 - ・ゴムローラー清掃金具(フェルト付)と洗浄液(スポイト付)がセットになっています。
 - ・給紙ローラー・用紙セパレーター・折りローラー専用の清掃液キットです。
 - ご使用いただきますと清掃がスピーディで手を汚す事なく簡単に汚れを落せます。
 - そしていつまでも正確な紙送りや紙折りが維持できます。



お願い

- 使用中に電源スイッチを「切」にしたり、電源コードを抜いたりしないでください。
- 退社時や停電の時は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
- 機械の改造や部品の取り外しは行わないでください。
- オプション部品の取り付けに関しては、当社サービスマンにご連絡ください。
- 機械が故障しましたら、故障内容を出来る限り詳細に、当社サービスマン迄ご連絡ください。

取扱説明書

この「取扱説明書」はいつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

また、この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店か当社営業担当者、又はお客様相談センターまでご連絡して、内容を確認のうえ請求してください。

この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。

●故障の場合

修理が必要な故障の場合は、販売店または当社営業担当者及び以下のウチダテクノまでご連絡ください。

■株式会社ウチダテクノ

部門・部署名	〒	所在地	TEL	FAX
東京	104-0033	東京都中央区新川1-10-14 ニューリバービル 2F	(03)5657-4071	(03)5657-4081
大阪	540-8520	大阪府大阪市中央区和泉町2-2-2 ㈱内田洋行内 3F	(06)6920-2446	(06)6920-2498
札幌	060-0041	北海道札幌市中央区北1条東4-1-1 サッポロファクトリー ㈱内田洋行内 1F	(011)241-2825	(011)241-2827
福岡	812-0008	福岡県福岡市博多区東光2-10-11	(092)476-5011	(092)476-5009
名古屋	460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内2-4-20	(052)220-5270	(052)222-7640

●商品に関するお問い合わせ先

お客様相談センター フリーダイヤル 0120-077-266

●クリーナー

注文番号: 1-141-0074 ゴムローラー専用クリーナー